

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和7年6月12日（木）

### 2 確認箇所

- ・ No. 3、4重油タンク跡地周辺（5・6号機南東側）（図1）
- ・ 5号機原子炉建屋（図1）

### 3 確認項目

- （1）サブプレッションプール水サージタンク周辺における油含有土壌対策の状況
- （2）5号機使用済燃料の保管状況

### 4 確認結果の概要

#### （1）サブプレッションプール水サージタンク周辺における油含有土壌対策の状況

平成23年3月に発生した東日本大震災の津波により、5・6号機のサブプレッションプール水サージタンク（以下「SPT」という。）及びNo. 3、4重油タンク（令和3年3月撤去済）が損傷を受けた。周辺土壌からの港湾への重油漏えいは確認されていないが、東京電力は、重油タンク周辺の油含有土壌対策工事を計画している。

今回は、油含有土壌対策工事を行うにあたり、作業に干渉するSPTポンプ室の撤去作業が行われていることから、現場の状況を確認した。（前回確認：令和3年7月28日）

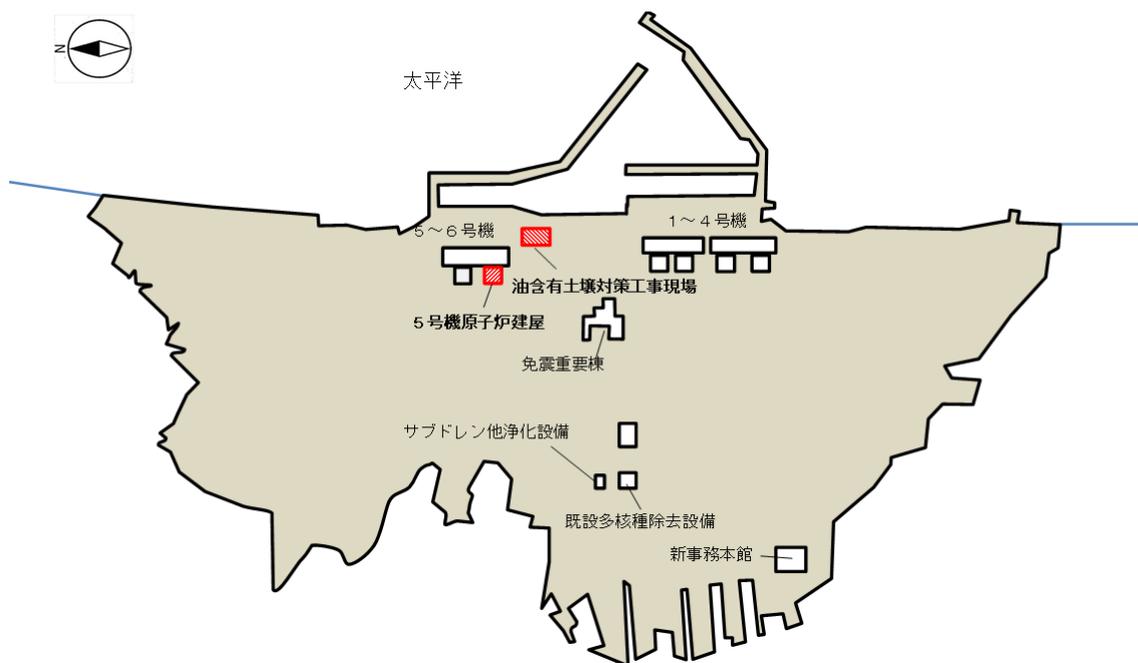
- ・ 現場確認時、SPTポンプ室の撤去作業を行っており、10名ほどの作業員がカバーオールを着用して作業を行っていた。（写真1）
- ・ 確認した範囲では港湾への油の漏えい等は認められなかった。

#### （2）5号機使用済燃料の保管状況

5号機の原子炉建屋にある使用済燃料プール（以下「SFP」という。）には、令和7年5月29日時点で、1,374体の使用済燃料が保管されているが、東京電力では、地震や津波などに対してより安全性の高い共用プールにおいて集中保管するため、これらの使用済燃料を各原子炉建屋のSFPから共用プールへの移送をしている。本日は、5号機の状況を確認した。

- ・ 5号機における使用済燃料は、1,374体のままであり、取り出しは行われていなかった。

- ・ SFPの水は、水質を維持するための設備（プール冷却浄化系）が稼働しているため、確認した範囲において濁り等の異常はなかった。（写真2）
- ・ 5号機のおペフロでは、燃料交換機点検工事の他、輸送用貯蔵兼用キャスク移送業務、自動火災報知機設備の改修工事等が実施されていた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) 撤去作業の状況①



(写真1-2) 撤去作業の状況②



(写真2-1)5号機SFP①



(写真2-2)5号機SFP②



(写真2-3)SFP周辺の作業スペース①



(写真2-4)SFP周辺の作業スペース②

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。